新電元パ電力営発第86－013号
2008年5月27日

お客様各位

新電元工業株式会社
電 力 機 器 事 業 部
営業部長　谷川　裕之

小型無停電電源装置　UPAC シリーズの保守対応終了のお知らせ

拝啓　貴社益々ご清栄の段慶賀に存じ上げます。
又、日頃から格別なるお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

弊社では、小型無停電電源装置『UPAC シリーズ』、『UPAC07E, 05 シリーズ』を製造してまいりました。しかし、2003 年 12 月に生産中止となりました『UPAC シリーズ』及び、2002 年以前に生産中止しております『UPAC07E, 05 シリーズ』を含めた全ての製品に対する今後の保守対応及び、交換用バッテリー供給対応について、ご報告申し上げます。
これまでご愛顧を頂きましたお客様に感謝申し上げます。
なお、保守最終受付時期、交換用バッテリー最終受付時期につきましては、下記の予定でございます。　敬具

1. 対象製品

型　名	販売完了時期	保守最終受付時期	交換用バッテリー最終受付時期
・UPAC-08(08B)	2003年　12月	2010年12月28日	2010年12月28日
・UPAC-11(11A, 11C, 11CA)	2003年　12月	2010年12月28日	2010年12月28日
・UPAC-15(15CA)	2003年　12月	2010年12月28日	2010年12月28日
・UPAC-10S, 10E	1998年以前	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPAC07E　Model-7(7-3)	1998年以前	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPAC07E　Model-7A(7A-3)	1998年以前	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPAC07E　Model-7B(7B-3)	1998年以前	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPAC07E　Model-19(19B)	2002年　9月	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPAC07Eシリーズ全てのModel	1998年以前	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPAC05　Model-3(3M, 3A)	2001年　7月	2008年12月26日	2008年12月26日
・UPS-500　シリーズ	1998年以前	2008年12月26日	2008年12月26日

2. 修理保守対応について

小型無停電電源装置の生産中止から長年が経過し、修理保守ご依頼件数の大幅減少に加え、構成部品の生産中止品の増加により部品調達が出来なくなっている状況です。
また、製品自身も有寿命製品(本体:期待寿命 7 年間、バッテリー:約 2～3 年間)の為、『UPAC07E, 05 シリーズ』は 2008 年 12 月 26 日を最終受付日とさせて頂きます。
『UPAC シリーズ』は 2010 年 12 月 28 日を最終受付日とし、全ての製品を対象に保守受付を終了させて頂きます。保守項目については、点検、修理、清掃及びバッテリー交換になります。
なお、保守項目は、製品寿命の延命ではございません。

また、保守用として確保しております部材に限りがございますので、製品の破損状態によっては最終受付期限前に修理不能とさせて頂く事が御座います。あらかじめご了承いただけますようお願い致します。

3. サポート方法について

修理保守サポート方法としては、現行通りセンドバック（引取り修理）での対応となります。

4. お客様へのお願い事項

製品の期待寿命はご使用環境により変化致しますが、製造後、本体：約 7 年間、バッテリー：約 2～3 年間となっております。

そのため、現在ご使用製品の製造年月のご確認をお願い致します。製造年月により該当となる場合は、下記の処置をお願い致します。製造年月の確認方法は、添付の製造番号表示内容をご参照をお願い致します。

〇製造後7年未満の製品で現在も稼動している製品にて、

- 机下等に設置され、粉塵が多い環境での稼動
- バッテリー有効期間を超過しての稼動
- 取扱説明書記載外での運転

上記条件下で使用を続けられますと、製品本体内部に付着した異物・塵埃によるトラッキング現象により発煙等事故が発生する危険性があります。従って、現在稼動されている環境をご確認頂き、上記条件にて稼動している場合は、直ちに運転を停止して頂き点検、清掃、バッテリー交換の実施を推奨致します。

〇製造後 7 年以上を経過した製品の場合

早急に他社製 UPS への交換をご検討下さいますようお願い致します。

大変申し訳ありませんが、弊社では、代替機は取り扱っておりません。

5. 点検のご依頼・返却先について

点検をご依頼される場合の製品返却先は、下記に返却をお願い致します。

ご請求については、担当部門、及び、特約店等の販売会社より提出させて頂きます。

返却先

〒357－8585
埼玉県日高市梅原35番地
新電元スリーイー株式会社
FE課宛て
TEL　042－989－2131

6. お問合せについて

本件に関する問い合わせは、

新電元工業株式会社
電力営業課
TEL　042－971－1550（UPS担当）
FAX　042－971－1570（UPS担当）

以上

UPACシリーズ製造番号確認方法

・ 定格銘板に製造番号(L／N)及びシリアルNo.(S／N)がUPS本体に貼付されています。

下記の銘版の表示内容で製造年月日をご確認下さい。

表示例

製造番号:L／N　70970050－10

↓

製造番号

シリアルNo.:S／N　7　9－000150－02B

- 7 → 西暦 1桁目を表示 1997年製
- 9 → 製造月を表示 9月 ※ 10月:X 11月:Y 12月:Z
- 000150 → 通し番号を表示
- 02B → 版数を表示

※ 1980年代の製造品の場合もあります。
その見分方法としては、製造番号L／Nが
80940010-10など最初の4桁数字の4番目が4になっている場合は、
1980年代の製造品になります。

SHINDENGEN ELECTRIC MFG. CO., LTD.	DWG. NO. 86－0019	SHEET 1／1	EDIT. 1